

～ 進路決定に向けた今年度の行動目標 ～

コザ高生として過ごす3年間、自分の進路について何をどう考え、いかに行動すべきだろう！？
次にあげる行動目標を意識して、高校生活をより充実したものにしていこう！

☆ 1 学年・・・「コザ高生になる」

	具体的な目標と目標達成のための行動
1 学 期	コザ高生としての生活をつくる。 コザ高生としての生活リズム、時間の使い方、授業の受け方、講座・模試の受け方、教科ごとの学習の仕方、自学学習の必要性及びコザ高校で学ぶ意味を理解する。
夏 休 み	高校生になった自分確かめる。 初めての高校生活を振り返り、できたこと、できなかったこと、分かったこと、分からなかったことを整理する。分からずに済ませたことや、分かった気になってしまっていたことは、補完・強化する。学習内容や方法に不安がある生徒は、その分野が得意な友だちや教科担任に積極的に質問・相談をする。
2 学 期	自己の適性を探り、進路の適性を探究する。 自己理解や自身と社会を知る活動を通して、社会との関わり方から進路を考える。1学期の学習の補完・強化をしながら学習内容の理解深化に努める。また、高校学習の基礎となる高校1年の学習内容の基礎・基本の定着を図る。
冬 休 み	コザ高生になった自分確かめ、希望進路を概観する。 コザ高生としての誇りが持てる生活を確認し、学習以外の+aも含め、2学期の自分を振り返る。なりたい仕事に就くためのルートを調査し、家族とよく相談し、希望進路を概観する。
3 学 期	高校生の進路対策を理解するために、卒業後の選択肢を具体的に調べる。 主体的に進路対策に取り組めるよう、現段階での将来像や職業観に照らし、興味がある学部・学科・大学等を調べる。県内進学(就職)と県外進学(就職)の違いも調べる。
春 休 み	1年間の成長を確かめる。 1年間の学習の成果と課題、及び次年度の目標と将来への希望を整理し、2年生に向けての準備をする。学習の基礎・基本が定着しているかを再確認し、不十分な点を強化しておく。

☆ 2 学年・・・「希望進路を決定する」

	具体的な目標と目標達成のための行動
1 学 期	希望進路を概観する。 国公立大学と私立大学、県内大学と県外大学、大学と専門学校の違い、進学と就職の違いを調べ、現段階での希望進路に合った進路目標を設定する。進学説明会やガイダンスを積極的に活用する。
夏 休 み	学習定着度と希望進路を確かめる。 オープンキャンパスや学校説明会に参加したり、理想の先輩や目標となる大人と交流したりして、希望進路を確認する。希望進路実現のために、学習の積み残しを補完・強化する。講座を有効に活用する。
2 学 期	3年生の動きをよく見て、希望進路実現のためのプランを立てる。 希望の学部・学科、業種・職種を調べ、どの受験方法でどの大学に挑むのかを周りの友人や担任、進路指導部の先生方と相談し、志望校を5～10校程度に絞り込む。約1年後に迎える受験を見通し、1年間の受験対策プランを立てる。

具体的な目標と目標達成のための行動	
冬 休 み	進路決定のための3学期の準備をする。 1年間の受験プランを再確認し、時間の使い方を点検する。希望進路先が決定している場合は志願理由書を書いてみる。希望進路先が内定している3年生の話聞く。受験方法に対する自分の力を客観的に判断する。
3 学 期	希望進路を決定する。 希望進路を5校程度に絞り、自分に合った受験方法(総合型選抜・学校推薦型選抜・一般選抜など)を決定する。受験及び入学にともなう経費について保護者と十分に話し合う。
春 休 み	進路実現の心構えを確認する。 最終学年に向けて時間の使い方や生活の作り方を再確認し、授業・講座・模擬試験の受け方や家庭学習への取り組み方などを具体的に計画する。

☆ 3 学年・・・「希望進路を実現する」

具体的な目標と目標達成のための行動	
1 学 期	受験を意識した具体的対策に取り組む。 受験生としての自覚をもち、受験に向けた生活スタイルをつくる。全ての教室が落ち着いて学習に取り組めるよう、HR内の雰囲気づくりに心がける。志願理由書を仕上げる。小論文を実際に書く。
夏 休 み	総合型選抜・学校推薦型選抜への万全の準備と一般選抜への準備に計画的に取り組む。 講座や家庭学習を有効に組み合わせ、長期休暇を利用して苦手科目の克服に集中的に取り組む、合わせて得意科目の強化にも取り組む。小論文対策のための材料を十分に仕入れる。余裕がある受験生は早い時期から過去問題にも取り組む。
2 学 期	第一志望実現のための万全の準備に取り組む。 各自の受験準備を計画的に進めると同時に、落ち着いた学習環境づくりにHRや学年会で取り組む。また、進路決定者が未決定者を支援できるよう、受験を団体戦で乗り切ることを意識した雰囲気をつくる。
冬 休 み	大学入学共通テスト直前対策・一般選抜対策に取り組む。 体調管理を十分に行い、受験までの日程や渡航計画などを入念に確認する。直前講座や家庭学習に徹底して取り組み、受験に必要な学力を最後まで粘り強く補強する。
3 学 期	最後まで諦めずに目標に挑み、誇り高く卒業する。 最後まで進路実現のための努力を続ける。また、大学の課題にきちんと取り組み、卒業後の生活に向けて必要な準備をする。特に浪人予定者は、HR担任や進路指導部職員と十分に相談をしておく。

